

ミャンマー に行つて。

楽器総合学科 3年

山田 花那子

私は大学を辞める際、何か自分が興味を持って勉強出来る事は無いかと模索している時がありました。その際少しだけ、青年海外協力隊について調べている時期があり、楽器の事について勉強がしたいので、中部楽器に来る事に決めました。そして今回のピアノをミャンマーの子供達に届けるという活動の話を知り、参加させて頂く事になりました。

私はとゆうと、ピアノが少し弾けただけで、ピアノの修理にはあまり携わった事が出来ず、以下の後輩や、今回一緒に来た竹内君ととも頑張っていた中、参加が決まり、少し申し訳ない気持ちで行く前にはありませんでしたが、行ってからは感謝の気持ちでしかありませんでした。あ、とゆう間の一週間は一日一日の内容が濃く、初めて実際に目に見て感動が、また自分達とは生活水準が違いすぎると胸が痛くなる時の事の方が多かったです。

今回行った中で一番印象に残っているのは、初めて子供たちと接したからか、分かりませんが一番最前に行ったセー東村の子供たちです。外国人が立ち入りを禁止されていて、と、小さいのであまり村の外に出たりしないので、私達を見る目がすごくたとうか、初めて見るまなざしでした。笑いかけ手を振ると、そこから目が合う度にニコニコと笑ってこちらに手を振り返してくれたり、自ら手を振ってくれるのが嬉しくて嬉しくて、バスに乗る前にみんなが写真撮影、笑顔で大勢だな、子供ってどこに住んでるとか関係なく、本当にかわいいなと思いました。

そしてピアノ演奏をして国歌を吹いた際、それに合わせて
自ら歌い出してくれたユワ保育園の子ども達。本当に感動して
涙が出そうになりました。その後一緒に折り紙を折ったり、
鶴の折り方は一般的なものとは違い、竹内が「おじいちゃん、おばあちゃん
でこんな折り方してる人いた!!」と言って、昔から伝わってきたのかと
とじんわりあたにか、気持ちになれたり、紙ヒコーキも一緒に
飛ばしたり。とても楽しかったです。そして初めてで「取っ手」がわかる
紙もとてもかわいかったです。

Main Tank Youth では豊友会の方々が「ゴミ箱をプレゼント」され、
その後一緒にゴミ拾いをしたのも「ゴミ箱も一緒に持ったり、
なるべくコミュニケーションをとる様にして元気づけました。
私の中でミャンマーにたくさんゴミが捨てられている事が「意外で
これは「かりは本当に驚きました。ミャンマーの景色や自然に触れる
事が多かったため」それは本当に守られて、残っていて、ミャンマー
という国の発展を願うばかりでした。観光客が捨てていく
という言葉を知ってとてもショックを受けた事も覚えています。

フイター孤児院では演奏するだけでなく、初めて子どもたちと
一緒にキラキラ星を吹き、教えました。
始めから「一人で吹いてみて!」とか「アド」さんを通して言うと、間違えたり
くやしいのか最初に戻ったりと何回もくり返して、それがとても
嬉しくて、感動しました。(一生懸命吹いてくれて)
最後もバスまでお見送りしてくれて、その子たちもとてもかわいくて。
一緒に写真を撮ろうとしたらみんな中々笑ってくれたから「これ、
うつりたいいと寄、てきとくくれたのび嬉しかったから」。

最後に私は三ツツのオーケストラ、吹奏楽について興味を持ち、ホテルで調べていました。聞いた人からは民族楽器的なのはある。とか何年前かに小沢征爾が来てそれまでなどの話を聞きましたか。2014年に東京都交響楽団のチエロ奏者の方が教えに来ていたと知りそれからとても興味が湧きました。

その話も日本大使館でたどたどしからたどすか、話す事が出来、聞く事が出来、それは本当に本当にこれからも出来るか/かからない貴重は経験だ。たと思います。

私は音楽が好きで今ここに居ます。

本当は奏者として活躍したかった。今でもその気持ちが捨てられなくて楽器を吹き続けた自分がいます。

今日はピアノで参加させて頂きましたか、私はもっと時間を取ってピアノがけじゃなくて声でも何でも、三ツツの人々に音楽を知ってほしい。と思いましたが、(竹内の話なども聞いて。)

くちんりに歌を。という言葉が好きです。私に音楽を教えくれた人は音楽は愛だ!! 目を見て(指揮者の)話を、音楽を使って。と口ずかす、はやく言っていました。

それが出来たら、と思います。

今回の参加で私の中の世界はとて広がりました、上手く伝えられませんが、このレポートにも書ききれませんが、本当に本当に感謝しております。

必ずまたこの地に足を運ぶたいと思います。